

文化祭

～第37回 学区文化祭開催～

11月16日(日)やはぎかんにて「第37回学区文化祭」が盛大に開催されました。

今年のテーマは「世代間を超えた幅広い交流」です。

会場には趣向を凝らした「書道、絵画、手芸の展示」があり、また「練習を重ねてきた踊りや合唱」を発表する園児によるステージは、とても感動的でした。

37年間という長い年月を紡いできたのも、地元、地域の暖かい協力が有ればこそこの思いがあります。

これからも矢作東学区の地域文化の更なる発展を目指してまいります。
(北本郷町 豊川)



学区運動会

～各町区が一致団結で競いを楽しむ～

秋晴れの下、11月2日(日)に大運動会が開催されました。幼児～高齢者の皆様方に参加していただき、大盛況となりました。

得点競技5種目「玉入れ、長縄跳び、混成リレー、綱引き、年齢別リレー」、自由競技3種目「かけっこ、魚釣り競争、グランドゴルフ」で熱戦が繰り広げられ、7町区対抗戦の結果は矢作四区が3連覇を達成、準優勝は北本郷町、三位は暮戸・中園町でした。

「チームの団結を図る」「学区民の交流を深める」ことができ、とても良い機会となりました。

選手の皆様、準備に携わった多くの皆様方には大変お疲れ様でした。
(スポーツ推進 林)



防災訓練

～備えは出来ていますか～

学区防災訓練が9月28日に矢作東小学校で開催されました。

「約350名」の参加が有り、災害から身を守る為の知識や対処方法についての理解を深め、災害時のノウハウを身に付けていただくことを目的として行われました。

「自らの命は自らが守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」ことが求められます。

有事の際に自分の家族がどう動くかを想像して必要な物を日頃から備え、いざという時の適切な判断力と行動力を身に付けることをつねに心がけていしましょう。
(暮戸町 都竹)



いきいきクラブ9月

～身体を動かすことも守ることも～

今月は「輪投げ大会」と「避難訓練」です。

輪投げ大会は、参加者32名が6チームに分かれ、試投後5本の輪を3回投げて的に入った回数を競う競技です。最高得点者は9回成功、各チームの1位には参加賞品が渡されました。

9月は「防災月間」です。「南海トラフ地震」発生の切迫性が報じられています。揺れが治まるまで「まず低く、頭を守り、動かない」が基本の「シェイクアウト訓練」が行われました。

「南海トラフ地震臨情報防災対応ガイドライン」も8月に改訂されました。

下記を参考に日頃から災害に備えましょう。

<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/gaiyou.pdf>
(四区 松浦)



「命を守るための行動を」

いきいきクラブ10月

～古より伝わる「雅楽」を鑑賞～

参州雅楽社中4名の皆様による「雅楽」の演奏を鑑賞しました。衣装も正装で見事でした。

越天楽・道楽の演奏で入場後、代表の原田様により演奏者と楽器の紹介などがありました。

「笙・しちりき・羯鼓・琵琶・龍笛・和琴」など、雅楽特有の楽器による古式ゆかしい調べに参加者は皆魅了され、心奪われる思いでした。

「陪臚・榊・還城楽(舞楽)・黄鐘調・君が代」と、初めて聴く曲ばかり。素晴らしい調べでした。

雅楽は、神社での祈祷や祝い事、初詣などで聴けるくらい。生演奏に目も耳も心も奪われ、厳かで貴重な体験となりました。

(三区 伊與田)



おごそかな雰囲気心が洗われる

いきいきクラブ11月

～身体も心も頭も暖かく～

肌寒くなったこの頃ですが参加された35名の皆さんは今月のメニュー「健康体操」で暖かい時間を過ごされました。

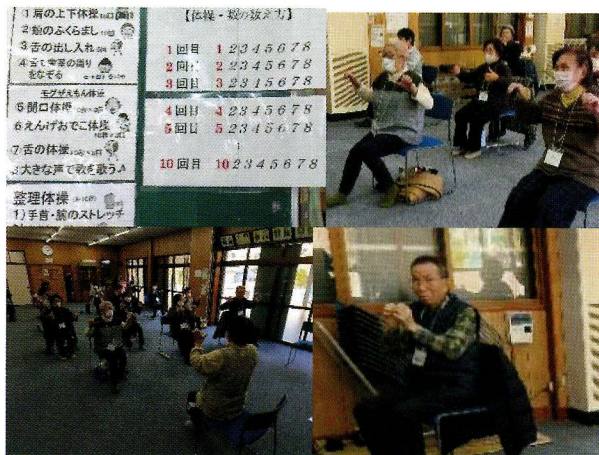
身体も心も温かくなった後は、「おはじき」を使った「お手玉送り」が始まりました。

皆さんが輪になって「あんたがたどこさ」の歌に合わせ、「おはじき」を隣の人に渡すのですが、単純に見えてこれが難しい。歌のフレーズの長さによって渡すタイミングが違ったり右回りから左回りに変わった途端に戸惑いが始まり…。和やかな笑いの中できっと頭も柔らかく暖かくなったことでしょう。
(四区 松浦)



ああやってこうやって

ごまんぞく体操



「岡崎ごまんぞく体操」の意義は、高齢者の介護予防・健康寿命の延伸を目的とし、筋力維持だけでなく、仲間づくりや地域づくり、認知症予防など多面的な効果を持つ点にあります。具体的な内容は「6種類の筋力体操」をおもりを使った運動を週1回・約40分以上の継続的なグループ活動(5人以上)で、市から年に二回サポートを受けています、五区の公民館では24名の参加で実施しています。
(ごまんぞく体操 菅)

スポーツ推進—矢作学区交流会



年1回、矢作地区の5学区でスポーツ推進委員の皆さんが、ニュースポーツを体験する交流会を開催しています。

本年は9月28日に北野小学校で開催。最初に「アクティブチャイルドプログラム」を体験、その後5学区対抗で「モルティック及びファミリーバドミントン」を行い、矢作東学区が優勝しました。

注釈:アクティブチャイルドプログラムは、様々な体の動きの発達を目的とした楽しいゲームを行う。幼少～子供～老人まで。
(スポーツ推進 林)

企画・研修部

企画・研修部会は、8名の運営委員と委員で構成されています。

内2名は、この福祉委員会設立時(平成20年)から委員会の在籍者です。

一人は、岡崎市民生児童委員会協議会副会長を経験し、福祉関係の生き字引的存在者で、この部会の重鎮として心配りをしてくれます。

他7名は、各自治区総代経験者でもあり、福祉への関心が強く矢作東学区の福祉向上に大変熱心です。

今年度は、先進的と言われる「六ツ実南学区福祉委員会」を訪問し、役員の方々と勉強会を行いました。親切で丁寧な説明を受け、矢作東と比較し更に矢作東学区福祉のことを深く考えることができました。特に、毎年「健康講座」と題し、六ツ実南学区の医者・福祉関係者7名による輪番制の講演会には興味がわきました。

また、悠久の里多目的ホールで催された「健康講座」に当研修部員が招待されました。地元医師講演の「带状疱疹てどんなもの」を拝聴しての意見交換は、勉強になりました。研修した事柄の良い面を、矢作東学区に取り入れていければと思っています。
(企画・研修部 伊勢呂)

学区研修旅行



11月27日(木)に矢作東学区総代会研修がありました。訪問先は浜岡原子力館です。研修内容は、「浜岡原子力発電所の建物の構造や安全対策等」の説明を受けました。地震や津波に対する強度の見直し等、福島原発を例に今までの予想を超える想定で見直しがされていました。

例えば津波防波堤の高さが22mに設定されていますが、津波想定が25.2mに見直され波堤の高さを、28mに修正され、他に原子炉建物の強度の見直し等徹底し安全を追求されていました！

「防災意識の向上」に繋がりました。(二区 山中)



矢作二区には、「紫石」伝説があり 平安時代の末（十二世紀後半）三河の国矢作村長者屋敷に古くから紫色に輝く庭石が、崇められていました。その長者にはそれは美しい娘がおり「浄瑠璃姫」と言われていました。

承安四年(1174年)牛若丸が奥州に向かう途中長者屋敷に、数日足を休めた祭に牛若丸と浄瑠璃姫に愛がめばえたのですが、源氏の再興の為奥州へ旅たちました。

姫は、叶わぬ恋を夢み菅生川に身投じてしまいました。深い悲しみの長者は、娘の思いを「紫石」に託し八幡社に奉納しました。幾度かの水難に見舞われ何時しか地中に埋もれ、ある時男が掘り起こしたところ一天雷雲轟 大雨激しく台地を叩き、石は再び地中に姿を消してしまいました。後に八幡社は水難を避け、堤防沿いの現在地に移されました。「紫石」は現在もこの地中深く残されていると伝わっています。

お近くにお越しの際は、お参り下さい。（二区 山中）



真宗大谷派暮戸教会内に建つお地蔵様。40数年経て祠の老朽化が進み、危険な状態となっていたことから建て替え工事を行い、本年5月に「新祠」が完成しました。

「地蔵菩薩」さまには、大いなる慈悲の心で人々を包み、苦しみや悲しみから救ってくれたり、なかには災難を代わりに引き受けたりすることもあるそうです。

「無病息災、五穀豊穰、交通安全、水子祈願、安産、子授け、子供守護」など多岐にわたるご利益があります。いついかなる時も見守ってくれる「お地蔵さん」に感謝し、「地蔵祭り、秋の例大祭の日」のお参り、そして、日々のお世話を子供会と町内の有志の方が行っています。

（暮戸町 都竹）

◆今後の主な行事予定

- ・CSA もちつき大会(協力 ボーイスカウト) 10:00～16:00 12月21日(日)【矢作神社】
- ・学区新年交礼会 1月10日(土)13:00～【やはぎかん】 ※岡崎市新年交礼会【市民会館】10:00～
- ・ファミリーバドミントン大会 1月25日(日) 9:00～【矢作東小学校 体育館】
- ※資源回収 ①1月17日(土) 矢作東小学校、 ②2月21日(土) 保育園・矢作中学校
- ③3月21日(土) 子ども会

この「矢作東学区福祉だより」は、学区住民のみなさまにご協力いただいた赤い羽根共同募金の一部を財源に発行しております。なにかご意見があれば、下記の連絡先までご連絡ください。

福祉だより発行団体:矢作東学区福祉委員会広報部 連絡先 090-1743-5141 (広報 石川)